

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公開番号】特開2008-67979(P2008-67979A)  
 【公開日】平成20年3月27日(2008.3.27)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-012  
 【出願番号】特願2006-250749(P2006-250749)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/11 (2006.01)  
 A 6 1 B 5/00 (2006.01)  
 A 6 1 G 7/05 (2006.01)  
 A 4 7 C 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/10 3 1 0 A  
 A 6 1 B 5/00 1 0 1 R  
 A 6 1 G 7/04  
 A 4 7 C 27/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験者の下側に被験者の幅方向に延びる態様に配置され、弾性的に撓曲可能な帯状の敷き板と、

敷き板の歪みを検出する歪み検出センサと、を備え、

歪み検出センサからの出力信号が被験者の生体情報の計測に用いられる生体情報計測用パネルにおいて、

敷き板の幅方向中間部の長さが、敷き板部の幅方向両端部の長さよりも短く設定されるとともに、

敷き板の幅方向中間部に歪み検出センサが装着されていることを特徴とする生体情報計測用パネル。

【請求項2】

敷き板の長さ方向両端縁のうち少なくとも一方が、その略全長に亘って敷き板の内側に凹んだ円弧状に形成されている請求項1記載の生体情報計測用パネル。

【請求項3】

敷き板の長さ方向両端縁の幅方向中間部のうち少なくとも一方に、敷き板の内側に局部的に凹んだ凹部が形成されている請求項1記載の生体情報計測用パネル。

【請求項4】

敷き板の上面及び下面のうち少なくとも上面に弾性層が設けられている請求項1～3のいずれかに記載の生体情報計測用パネル。

【請求項5】

敷き板の幅方向中間部に歪み検出センサとして少なくとも1個の歪みゲージが装着されている請求項1～4のいずれかに記載の生体情報計測用パネル。

【請求項6】

請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の少なくとも 1 個の生体情報計測用パネルと、  
パネルの歪み検出センサからの出力信号に基づいて被験者の生体情報を演算する演算手段と、を備えていることを特徴とする生体情報計測装置。

【請求項 7】

パネルの個数は 3 個以上であり、  
これらのパネルは、被験者の頭部、胸部及び腹部の下側に配置される 3 個のパネルを含んでいる請求項 6 記載の生体情報計測装置。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の少なくとも 1 個の生体情報計測用パネルと、  
パネルの歪み検出センサからの出力信号に基づいて被験者の生体情報を演算する演算手段と、  
演算手段の演算結果を報知する報知手段と、を備えていることを特徴とする生体活動監視システム。